

事務事業チェックシート

事務事業No 802 事業名 南方熊楠生誕150周年記念事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業種別	新規	
事業期間	平成28年度	～ 平成29年度
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	宮田 真吾
関連課	<small>保健医療課、観光課、商工振興課、向嶽山城歴史館、教育政策課、学校教育課、市民図書館、市民博物館、市民博物館、教育振興課</small>	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	文化振興費		
	大事項	文化振興事業		
事項	南方熊楠生誕150周年記念企業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	平成29年に南方熊楠生誕150年を迎えるのを記念し、熊楠にちなんだ事業を行うことにより、偉人・南方熊楠を生んだ和歌山市を誇れる雰囲気醸成する。	(主な事業) ・南方熊楠生誕150周年記念ロゴマークの作成 ・演劇公演「熊楠と孫文」の開催 ・説明看板の設置 ・ゆかりの地めぐりの開催				
実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			・ロゴマーク作成 ・演劇公演 ・看板の設置 ・子供向け小冊子の作成	・フィールドワークの開催 ・ゆかりの地マップの作製 ・図書館で熊楠コーナー ・博物館でコーナー展示		

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費					7,208	6,145	300			
伸び率 (%)	-	-	-	-	-	-	▲95.8%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員				2,972	3,107	3,679			
	正規職員以外									
小計					2,972	3,107	3,679			
国庫支出金					3,824	3,070	150			
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)					3,750	3,075	150			
所要人数 (人)	正規職員				0.39	0.39	0.46			
	正規職員以外									
主な予算内訳										

3 目標及び実績

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
活動指標	イベント開催数	目標値			1	1
		実績値			2	
		達成度 (%)			200.0%	
成果指標	参加者数	目標値			600	600
		実績値			600	
		達成度 (%)			100.0%	
活動指標	イベント開催数	目標値				
		実績値				
		達成度 (%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/			/
	縮小	/	○	/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	南方熊楠生誕150年の平成28年度から平成29年度までに集中して事業を行うが、顕彰そのものは継続して行う。
見直し・改善内容	更なるPRに努める。